

## 令和6年度倉敷市立美術館協議会議事録

開催日時 令和6年7月10日(水) 14時～15時30分  
開催場所 倉敷市立美術館3階第2会議室  
日 程 開会

- 1 教育長あいさつ
- 2 新委員の紹介

### 議事

- 1 令和5年度事業実績について
- 2 令和6年度事業計画について
- 3 決算・予算
- 4 その他

### 閉会

出席者 委員：大守委員、ウォルトン委員、坂本委員、福富委員、前田委員  
真重委員、森川委員（7名）（50音順）  
事務局：仁科教育長、森生涯学習部長、坂田美術館長、杉野主幹  
佐々木主任、山吹副主任、前田学芸員、尾上学芸員（8名）

欠席者 竹内委員

傍聴人 0名

### 議事録

#### 1 令和5年度事業実績について

(会 長) 「令和5年度事業実績」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 令和5年度事業実績についてお手元の資料に沿って報告します。途中スクリーンに写真を映して説明する部分もあります。

#### ～令和5年度事業実績について、資料とスクリーンで説明～

(会 長) いろいろな取り組みが紹介されました。委員の皆様、何かご質問がありますか。

(■■委員) 第1展示室で行われた展示のチラシに、共催者として亡くなった作家の名前が入っていたのは残念でした。また、倉敷っ子なかよし作品展は、子どもたちにとって良い思い出になったのではないのでしょうか。子どもたちが親を連れてきているのが微笑ましかったです。

(事務局) 共催者に亡くなった方の名前が入っていたことについては、今後のこともあるので、どの展示であるのか確認し、対処します。

(委員) 貸館事業は許認可制なのですか。

(事務局) 教育委員会の管轄であり、教育に関わる事業などについて広く許可を出しています。団体から申請書を出してもらい、内容等から使用の可否を判断します。

## 2 令和6年度事業計画について

(会長) 続いて、令和6年度事業計画について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 令和6年度事業計画について資料に沿って説明します。

### ～令和6年度事業計画について、資料で説明～

(会長) ありがとうございます。意見や質問がありますか。

(委員) 前回の協議会で倉敷ゆかりの作家を紹介する展覧会について伺いました。その後、何か検討されていますか。

(事務局) 当館独自の展覧会をしたいと考えています。昨年度は郷土ゆかりの作家である斎藤真一と瓜南直子、有元利夫の3人展を行いました。今年度は秋に、昨年作品の寄附をいただき、新たに当館コレクションに加わった高橋秀先生の作品に当館所蔵の高橋秀作品をあわせて、展示会を開催する計画があります。また、来年度は芸人や俳優として活躍され、漫画作品も高い評価を得ている矢部太郎さんと、彼の父のやべみつのりさんの親子展を予定しています。やべみつのりさんは倉敷市連島出身の紙芝居作家であり絵本作家です。また再来年度は、倉敷市出身のスポーツ選手を取り上げ、その高い芸術性に焦点を当てた展覧会ができないだろうか検討中です。引き続き美術館では、計画的に郷土ゆかりの作家を紹介していきたいと考えています。

(委員) ありがとうございます。引き続きよろしくをお願いします。

## 3 決算・予算

(会長) 決算・予算について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 決算・予算について、資料に沿って説明します。

### ～決算・予算について、資料で説明～

(会 長) ありがとうございます。質問がありますか。

(■■委員) 昨年度の決算を拝見し、とても上手に運営されていると思いました。光熱水道費や人件費が高騰するなか、予算は見越して計上されていますか。前年度と同じだけの事業を計画しても経費はかなり上がるという状況です。物価高騰への対策についてお考えがあればお聞かせください。

(事務局) ポスターやチラシの印刷費も相当かかるようになりました。今夏の馬場のぼる展は実行委員会方式でやっていますが、材料費等の高騰のため当初予定していた看板やパネルを作ることができませんでした。印刷費も郵送費も値上がりしています。今後は、広報の宣伝費や郵送費の値上がりを見越して、SNSなどのデジタル媒体に移行することなども考えてやっていかねばなりません。

(■■委員) 今日は教育長も生涯学習部長もおられるので、予算の確保など一丸となって考えていただけたらと思います。

(事務局) 民間も同じであると思いますが、施設を管理するうえで、光熱費、人件費、印刷費など全てが値上がりしています。美術館や教育委員会だけではなく全市的なことですので、令和4年度には年度途中で補正予算が行われ光熱水道費が増額されましたが、令和5、6年度はそれをベースに予算編成をしました。とはいえ、お金の使い方は工夫をしなければなりません。美術館も自然史博物館もこれまで集客のために紙のチラシやポスターを送っていましたが、今後はSNSで上手に発信する方法に移行していく必要もあると考えています。

(会 長) 物価高や円安などいろいろなことがこれまでと変わってきています。広告宣伝については、在り方を考えていく時代が来ていることが実感されます。QRコードの利用など、知恵を絞っていくことが必要です。ありがとうございます。他にありますか。

(■■委員) 令和5年度の決算額が当初予算よりマイナスになっていますが、その要因は何でしょうか。

(事務局) 国が電力会社等に補助金を交付したことで、光熱水道費の高騰が抑えられ、結果的には補正予算で見込まれていたものより実際の支出が少なかったことが大きいと思います。

(■■委員) 苦しいなかで創意工夫をし、予算を抑えているようで、引き続きよろしくお願ひします。

(会 長) 他には何かありますか。

(■■委員) 運営事業費が多くを占めます。光熱水道費に関わる点で確認させていただきますと、蛍光灯はLEDに変えていますか。

(事務局) 変えているところもありますが、変えられていないところもあります。

(■■委員) 蛍光灯は2027年には廃止になります。改修の計画はありますか。

(事務局) ロビーや第2展示室はLEDにしましたが、第3展示室は出来ていません。計画中ではありますが、大きくは今後図書館、博物館が移転し、当館が改修する際にまとめてやっていくという考えです。

(■■委員) 民間では償却を前提に設備投資をして回収します。そういったことも参考になさってください。それから先ほど実行委員会の話がありました。企画展の多くで実行委員会が組織されるようになってきました。新聞社と組む場合、美術館と新聞社それぞれが出資して経費を賄い、超過した分は配当します。大原美術館展が静岡市美術館で開催された際、静岡新聞社は住宅メーカーとタイアップしてその顧客を展覧会に招待しました。メディアはそうしてスポンサーを巻き込み、出資した分を回収します。新聞社もそうしたことが得意でしょうから、岡山のメーカーなどをスポンサーにして配当ができるようにし、経費を回していけばよいのではないのでしょうか。

(事務局) 貴重な意見をありがとうございます。実行委員会形式をとっている馬場のぼる展は今回残念ながらスポンサーがつかせませんでした。当館も実行委員会を組むのは15、6年ぶりのため不慣れなところがありますが、地元の企業に協力いただける仕組みづくりを今後の課題としたいと思います。

(会 長) 原資に限りがあるなかスポンサーとどう協力していくか、今後も検討いただければと思います。決算・予算関係でその他意見がありますでしょうか。なければ決算・予算についてはここまでとします。

#### 4 その他

(会 長) 引き続き「その他」に移ります。事務局から何かありますか。

(事務局) 美術館からその他の議題はありません。委員の皆様から、他に審議しておき

たいことがあれば伺いたいと思います。

(会 長) ありがとうございます。議題以外でも結構です。せっかくの機会ですから意見や要望はありますか。

(■■委員) 昨年この場で提案した空飛ぶ車の一階ロビー展示は、主催や共催が倉敷市でないとできないといわれ断念しました。日本商工会議所とニュージーランドとの国際会議のレセプションの会場として美術館のエントランスを使えるとお聞きしました。エントランスを借りることができる、できないという線引きはどこにあるのでしょうか。

(事務局) 美術館は社会教育施設として位置づけられている一方で、丹下健三の建築であり市の財産でもあります。教育施設として使用されるだけでなく、市の財産としてもっと活用されて良いのではないかと考えます。この度、市のMICE推進室が使用許可の申請をされましたが、本来の美術館業務とは異なります。条例もあり線引きをしづらいなか、現状では市が共催する事業であるかどうかで使用許諾を判断せざるを得ません。広く開放するとなると、丹下の設計で海外からも注目される建物ですから、利用したい人は際限なくいるでしょう。そうした要望をどこまで許可するのか、美術館だけでなく市民の考えもお聞きしなくてはなりません。美術館の本来の機能が損なわれない範囲で、もっと多くの人に利用してもらうことを試行錯誤しているところです。

(会 長) ありがとうございます。収集・保存・調査研究・展示という本来のミュージアムの役割が箱型から外へ広がりを見せ、いろいろな方とつながるようになりました。ベネッセの直島での取り組みもそうですし、森の芸術祭も県で開催され、来年は万博もあります。MICEも倉敷市として集客も視野に入れながら大きく取り上げ、役割をどう分担し誰と手を携えるのか、検討していかれるのでしょうか。この建物のエントランスはとても良いです。多くの方をお迎えして楽しんでもらうことは丹下建築の醍醐味と思います。素晴らしい財産をどう活かしていくか、その重要性は皆が理解しています。ありがとうございました。他に提案等あればよろしくお願いします。

(■■委員) 倉敷っ子美術展は子どもたちにとってとても誇らしく素晴らしい機会と思いますが、図録はあるのでしょうか。

- (事務局) 写真記録はありますが、記録集や図録は作っていません。
- (委員) 少しで良いので会期以外でも手に取って見てもらえる資料が窓口があれば、次の世代がそれを見て、美術館に通うきっかけになるのではないのでしょうか。子どもたちはSNSを活用します。美術館に通うことが習慣になれば将来どんなツールができるかわかりません。ちょっとしたことですが、種をまいていくという意味で記録集などを作って窓口に置いていただけたらと思います。
- (事務局) 市内の小中学校ではデジタル化が進んでいます。子どもたちが授業の合間にタブレットで倉敷っ子美術展の様子を見られるような機会を作れたらと思います。倉敷っ子美術展は小中学校の先生方と会議をしながら作っている展覧会です。今回こうしたご意見を協議会でいただいたことを、会議で先生方に共有したいと思います。
- (会長) ありがとうございます。他に何か意見はありませんか。
- (委員) 倉敷芸術科学大学との連携は、プログラム化されているのでしょうか。
- (委員) 毎年やっています。今年度は「アートのまち倉敷」、「倉敷春宵あかり」のプロジェクトマップで連携しているはずです。
- (事務局) 大学との連携について補足説明します。昨夏の天領風船鯨で倉敷芸術科学大学の大屋努先生にワークショップをしていただきました。大屋先生には今年度も馬場のぼる展にちなみ、じゃばらねこを作るワークショップをしてもらいます。展覧会の関連事業ではなく、観光課が事務局となっている「アートのまち倉敷」実行委員会の事業として実施します。それも大学との連携のひとつですし、昨年度から斎藤真一の「越後瞽女日記」のウェブサイトづくりも倉敷芸術科学大学の協力を得ており、現在進行中です。
- (事務局) 倉敷芸術科学大学とくらしき作陽大学とは日頃から連携をとっていますが、正式なプログラムというわけではありません。プログラムにしていく方法もあるかもしれませんが、日頃の協力関係の中で、お互いを縛らないやり方でも良いのではないかとと思います。
- (会長) 補足をありがとうございます。地域の大学と美術館の連携には可能性を感じます。その他に何かありますでしょうか。美術館が継続していくためには、こういった協議会の場のみならず、市民が美術館を自分のこととして思っ

いただく必要があると感じました。そういった意味でも今度の馬場のぼる展に期待しています。コロナ禍ではなかなか自由にでかけることができませんでしたが、この夏休み期間中に家族連れや多くの方々にお越しいただけるよう、がんばってください。これで議事を閉め、事務局にお返ししたいと思います。

(事務局) 委員の皆様、長時間にわたりご審議いただき、貴重なご意見を頂戴し、ありがとうございました。閉会の挨拶を副会長にお願いいたします。

(副会長) 皆様今日は暑い中、倉敷市立美術館協議会のためにお集まりいただきましてありがとうございました。いろいろな会議に出席させていただく機会があり、経済状況や人びとの趣向が変わる時代に、どこの美術館も迷いの中にあると感じます。そして、一体美術館にできることは何だろうかといつも考えます。まずは来ていただいて本物に出会っていただくことが一番であり、そこから興味の幅を広げることができる場所、それが美術館の魅力です。それはどれだけデジタル化が進んでも譲れないところです。市立美術館がそうした魅力ある美術館となるよう裏支えし、多くのお客様をお迎えできる場になるよう協力していけたらと思っています。今日はありがとうございました。

(事務局) 本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。先般、日本博物館協議会の会議に出席した際のことです。日本に数多くの公共施設がある中で、博物館施設がどれくらいの優先順位で市民に迎えられているのかをいま一度考えて進んでいかねばならないという話がありました。その通りと思います。われわれの施設は大きくはありませんが、市民の皆様期待される美術館にしていかななくてはならないと考えます。それではこれを持ちまして、令和6年度倉敷市立美術館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

以上を令和6年7月10日開催の令和6年度倉敷市立美術館協議会の議事録とすることに同意します。

令和6年 7月25日

倉敷市立美術館協議会

会長 森川 政典

